

享保 11(1726)年の火災によって焼失した佐賀城天守を発掘しました。

佐賀城天守台調査区


④⑤⑥では焼けた大きな礎石がみえます。黒くこげているところは柱の跡です。大きな礎石の下にはたくさんの石を詰め込んで安定させています。

⑦の部分は穴を掘って焼けた土や瓦を詰め込んでいます。

うわー！こんなに大きな石をどうやって上まで運んできたのかな？
それに大きな石の周りのたくさんの石の数もすごいね！



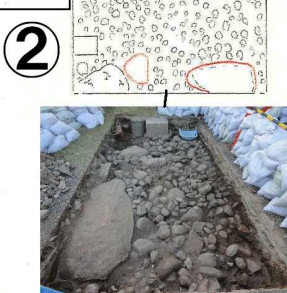
かつ坊 T. M2011
発掘調査イメージキャラクター

③の部分で鎧(よろい)が出土しました。石にが刻まれています。なんのマークかな？

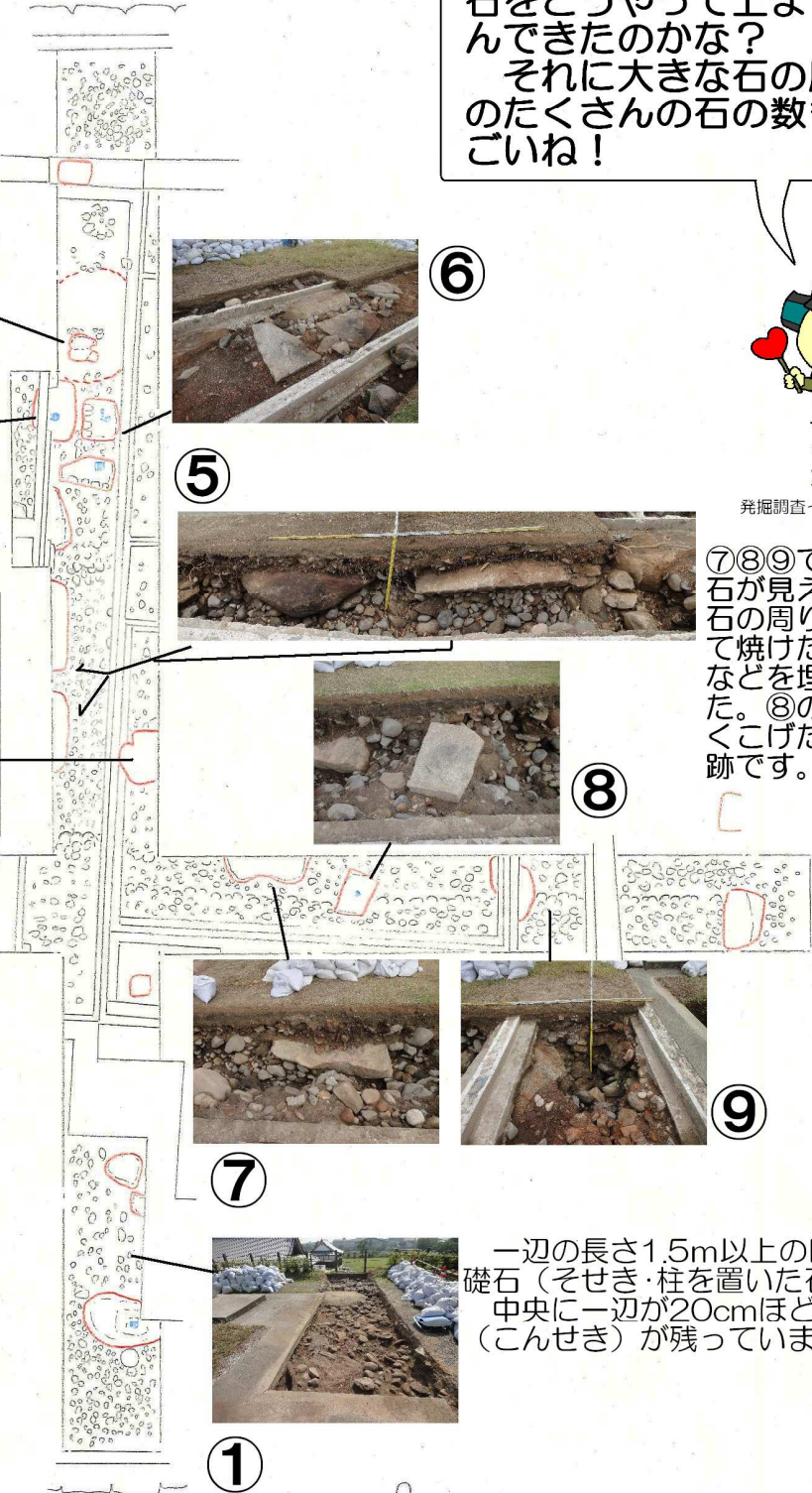
⑦⑧⑨でも大きな礎石が見えますが、礎石の周りを一度掘って焼けた土や石、瓦などを埋めていました。⑧の石の上の黒くこげた部分は柱の跡です。



階段



一辺の長さ1.5mの巨大な礎石 (そせき)



一辺の長さ1.5m以上の巨大な礎石 (そせき・柱を置いた石)。中央に一辺が20cmほどの柱の痕跡 (こんせき) が残っています。

・地下室の構造は確認できず、床面にたくさんの石を敷いています。
 ・びっくりするような巨大な礎石がならんでいます。
 ・石が焼けており、焼けた瓦や釘、焼土がたくさん出土しました。享保の火災の激しさを物語っています。
 ・よろいの断片、矢の先端、鉄砲の弾の出土から天守の利用法がわかります。



2011 T. M

出土遺物の数々(県立博物館で見てね！)



高温で変形した瓦



軒平瓦



軒丸瓦



杏葉文軒丸瓦



四角に十字のスタンプ 六角印に「吉」 楕円に吉 上

瓦に「十文字」、「吉」、「上」などのスタンプが押されています。大きさや形、字体にバリエーションがあり、同一工房内の職人による違いなのかは不明です。



いろいろな長さの釘・かすがい、びょう、ちょうつがい、吊金具などが出土しています。



鉄砲の弾



矢の先(やじり)



よろいの一部